

お知らせ

- I. Fortran コンパイラの障害について
- II. IDL のレベルアップについて
- III. MATLAB のレベルアップについて
- IV. Maple のレベルアップについて
- V. スーパーコンピュータのジョブ種別の経過時間の変更について
- VI. 平成 18 年度のライブラリー・プログラム開発課題募集について

I. Fortran コンパイラの障害について

Fortran コンパイラに下記の障害があることが判明しました。この障害は、12月5日（月）のシステム保守日に修正予定です。お心当たりの方は、本センター共同利用掛までお申し出ください。

【障害発生条件】

以下の条件を満たす場合、実行結果に誤りが生じる可能性があります。

- 1) 翻訳時オプション `-Kparallel` が指定されている。かつ
- 2) 多重ループが存在する。かつ
- 3) 2) の多重ループは、外側のループで並列化されている。かつ
- 4) その内側のループの初期値、終値または増分値に含まれる変数を 3) の外側ループ内で定義している。かつ
- 5) 4) の変数の定義が、内側 DO ループの下に存在する。

<プログラム例>

```
nn = nary(1)
do i=1,n1      ! 条件 3) の外側ループに該当します
do j=nn,n2    ! nn が条件 4) の変数に該当します
  a(i,j) = b(i,j)+c(i,j)
enddo
nn = nary(i)  ! 条件 5) の変数定義に該当します
enddo
```

【影響のあった期間】

2005. 3. 1 ~ 2005.12. 4

【回避方法】

翻訳時オプション `-Kparallel` を指定しない。

または、条件に該当するループに `!OCL SERIAL` を指定する (`-Kocl` が必要)。

【障害に該当するかどうかのチェック方法】

```
hpc% /opt/FSUNf90/checkbin/chk_frt -Kparallel,Kocl test.f
```

```
test.f:
```

```
***** PG44345 found ***** line 29
```

プログラムが障害に該当する場合には、上記メッセージが出力されます。

II. IDL のレベルアップについて

データ解析ビジュアライゼーションソフトウェア IDL が、12月5日(月)より、IDL 6.2 にバージョンアップします。このバージョンでは、つぎの機能が拡張されています。

- ・ 可視化機能のパフォーマンスの向上
- ・ 新しいモジュールの追加

詳しくは、つぎの URL を参照してください。

<http://www.jicoux.com/download/idl/IDL62.pdf>

III. MATLAB のレベルアップについて

対話型数値解析ソフトウェア MATLAB が、12月5日(月)より、MATLAB 7.1 (R14SP3) にバージョンアップします。このバージョンでは、つぎの機能が拡張されています。

- ・ データ解析及び数理アルゴリズム
- ・ 大規模モデリング
- ・ 固定小数点による開発

詳しくは、つぎの URL を参照してください。

<http://www.cybernet.co.jp/matlab/highlights/r14sp3.shtml>

IV. Maple のレベルアップについて

数式処理ソフトウェア Maple が、12月5日(月)より、Maple10 にバージョンアップします。このバージョンでは、つぎの機能が拡張されています。

- ・ 操作性の向上
- ・ 高度計算機能

詳しくは、つぎの URL を参照してください。

<http://www.cybernet.co.jp/maple/product/maple.shtml>

(以上「速報」No.44-17.11.24 発行)

V. スーパーコンピュータのジョブ種別の経過時間の変更について

2月6日(月)より、バッチキュー p8, p16, p64 の経過時間の制限値を 200 時間から 336 時間に変更します。

ジョブ種別

	キュー名	最大使用可能 CPU 数		CPU 使用時間		ラージメモリ		経過時間	ユーザ DTU
		プロセス	スレッド	標準値	制限値	標準値	制限値	制限値	
バッチジョブ	a 8	8	8	10 時間	10 時間	2 GB	400GB	2 時間	利用不可
	p 8	8	8	10 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用不可
	p16	16	16	10 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用可能
	p64	64	64	200 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用可能
	p128	128	128	200 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用可能
	p256	256	64	200 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用可能
	p1024	512	64	200 時間	無制限	2 GB	400GB	336 時間	利用可能
TSS	—	128	128	2 時間	無制限	—	128GB	—	利用不可

注1) CPU 使用時間は、各 CPU の合計です。

注2) ラージメモリは、プロセスあたりの値です。

注3) 現在のところ、バッチジョブで使用可能な最大の CPU 数は、1584 です。

注4) バッチジョブで使用できる 128CPU のノードは、1 台です。

VI. 平成 18 年度のライブラリー・プログラム開発課題募集について

平成 18 年度のライブラリー・プログラム開発課題をつぎにより公募します。

- 1) プログラムの内容：学術研究の発展に寄与するものであって、多数の利用者に共通に利用されるもの。
- 2) プログラムの種類：新しく開発しようとするもの。(改良及び書換えを含む)及び既登録プログラムの改良または書換え。
- 3) 応募資格：本センターの利用者であること。
- 4) 公募手続き：所定の申請書類により申請する。申請用紙及び公募要領は、共同利用掛 (052-789-4355) へ申し出てください。

(以上「速報」No.46-18.1.25 発行)